

(様式第9号)

情報公開用文書

「当院で脆弱性骨折と診断された経験のある患者さんまたは家族の方へ」
医学情報の研究利用について

1, 研究（調査）の目的と概略

当院における二次骨折予防のための FLS(Fracture Liaison Service)導入と運用に関する調査で、当院で脆弱性骨折（大腿骨近位部骨折、椎体骨折、橈骨遠位端骨折、上腕骨近位端骨折など）と診断された患者様に対して、FLS 導入の実態を調査し、患者教育、骨粗鬆症治療導入率、再骨折率を評価することで、二次骨折予防体制の有効性を明らかにすることを目的とする。

2, 研究（調査）の方法

脆弱性骨折の診断の元、治療・手術施行された患者様に関して、年齢、性別、臨床経過に関する情報を収集します。氏名や住所は収集いたしません。このデータはすべて既存のデータのみです。

3, 研究（調査）の参加施設

徳島県立中央病院

4, 調査期間

調査期間 2024 年 7 月 1 日から 2025 年 8 月 31 日まで

5, 調査の対象となる患者様

本研究の対象となるのは、上記調査期間の間に、脆弱性骨折の診断された患者様です。

6, この研究への協力は任意です

本研究は、患者様の診療記録から得られた情報のみを使用する「観察研究」と呼ばれるもので、患者様に新たな診療や検査を強いるものではありません。調査結果は、個人が特定できないように匿名化して管理し、個人情報を保護します。データのご使用をお断りになる場合は、直ちに情報の利用を停止いたしますので、ご遠慮なくお申し出ください。何も診療に不利益は生じません。

7, お問い合わせ先

所属 徳島県立中央病院 医療技術局リハビリテーション技術科

研究責任者 池脇圭司（いけわき けいじ）

お問い合わせ先 徳島県立中央病院 TEL 088-631-7151

池脇圭司 徳島県立中央病院 医療技術局リハビリテーション技術科

7.2 共同研究者

江川洋史 徳島県立中央病院 整形外科

宮城 亮 徳島県立中央病院 整形外科

佐藤 愛 徳島県立中央病院 整形外科 医師事務作業補助者

8 引用文献

- 1 骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン 2025 年版 編集 骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン作成委員会(日本骨粗鬆症学会 日本骨代謝学会 骨粗鬆症財団) p223-232.